

セブン銀行子会社バンク・ビジネスファクトリーが

GMO あおぞら ネット銀行より事務を受託

～マネー・ローンダリング対策事務をスタート～

株式会社セブン銀行子会社の株式会社バンク・ビジネスファクトリー（以下、BBF 神奈川県横浜市、代表取締役社長 築場 康行）は、GMO あおぞら ネット銀行株式会社（東京都渋谷区、代表取締役社長 山形 昌樹）のマネー・ローンダリング対策事務の受託を開始しましたのでお知らせします。

主な事務受託

- ① フィルタリング
顧客データのうち、反社会的勢力や国連制裁対象者などのリストへの照合に関する事務
- ② モニタリング
取引データのうち、不審な取引の抽出に関する事務
- ③ 疑わしい取引の届け出
「犯罪による収益の移転防止に関する法律」に基づく「疑わしい取引の届出」に関する事務
- ④ 「振り込め詐欺救済法」
犯罪利用口座の「振り込め詐欺救済法」に基づく事後管理・被害回復分配金の支払いに関する事務

近年、マネー・ローンダリングにおける手口は巧妙化しており、機動的かつ実効的な対応が求められています。

BBFでは、金融不正取引の検知から報告や提案に至る一連の業務を支援するほか、事務受託の様々な分野でサービス提供を検討しており、最新技術であるRPA（ロボットによる業務自動化）を活用することによるコストダウンなど、受託事務の最適化を行っております。

今後もセブン銀行、BBFは、提携金融機関のニーズをいち早く捉え、技術革新の成果をスピーディーに取り入れることで新しいサービスの提供に努めてまいります。